



## 牛RSウイルス病に注意！！

平成30年12月中旬、管内の農場で牛RSウイルス病が発生しております。  
冬は、病原体が不活化されにくく、さらに寒さや病原体が伝播しやすい舎飼の環境が引き金となり呼吸器病が発生しやすい季節です。  
発生・拡大を予防するため、防疫対策を徹底しましょう。

### 牛RSウイルス病とは

寒冷期に年齢に関係なく発生し、**呼吸器症状**と**発熱**を引き起こす。伝播速度が速い。

### 原因と感染経路

牛RSウイルスに感染した牛に**接触**したり、**咳**や**鼻汁**等を介して感染。

### 主な症状

- ・発熱・鼻汁・よだれ・結膜の充血・流涙・痰・呼吸促迫・皮下気腫
- ・細菌やマイコプラズマとの混合感染により症状悪化、死に至ることもある。
- ・泌乳牛では乳量の著しい低下、ときに泌乳停止

### 防疫対策を再徹底しましょう！

- ☑**飼育衛生管理基準の遵守の徹底**
- ☑関係者以外の**立入制限**
- ☑車両（タイヤ周り）の**消毒徹底**
- ☑踏込消毒槽による**靴底消毒の徹底**
- ☑飼育牛の毎日の健康観察による異状牛の**早期発見・早期通報**

**対処が遅れると近隣農家へ感染が拡大する恐れがあります。**  
**異状を感じたらすぐにむつ家畜保健衛生所まで連絡してください。**  
**☎ 0175-22-1254      （夜間・休日 090-5841-6810）**

## その他予防対策

### ✓ ワクチン

IBR 5種混合ワクチン、牛下痢5種混合不活化ワクチンなどのワクチンは、病気の発症を予防し、万が一発症しても軽症で済むことが期待できます。詳細は診療獣医師または家畜保健衛生所にご相談ください。

### ✓ 環境を整える

清潔な環境づくりはストレスの軽減も期待できます。



### ✓ 導入牛の管理

- 輸送中の十分な給水・導入時のビタミン剤投与
- 導入後約2週間は隔離飼養し、健康観察をする。

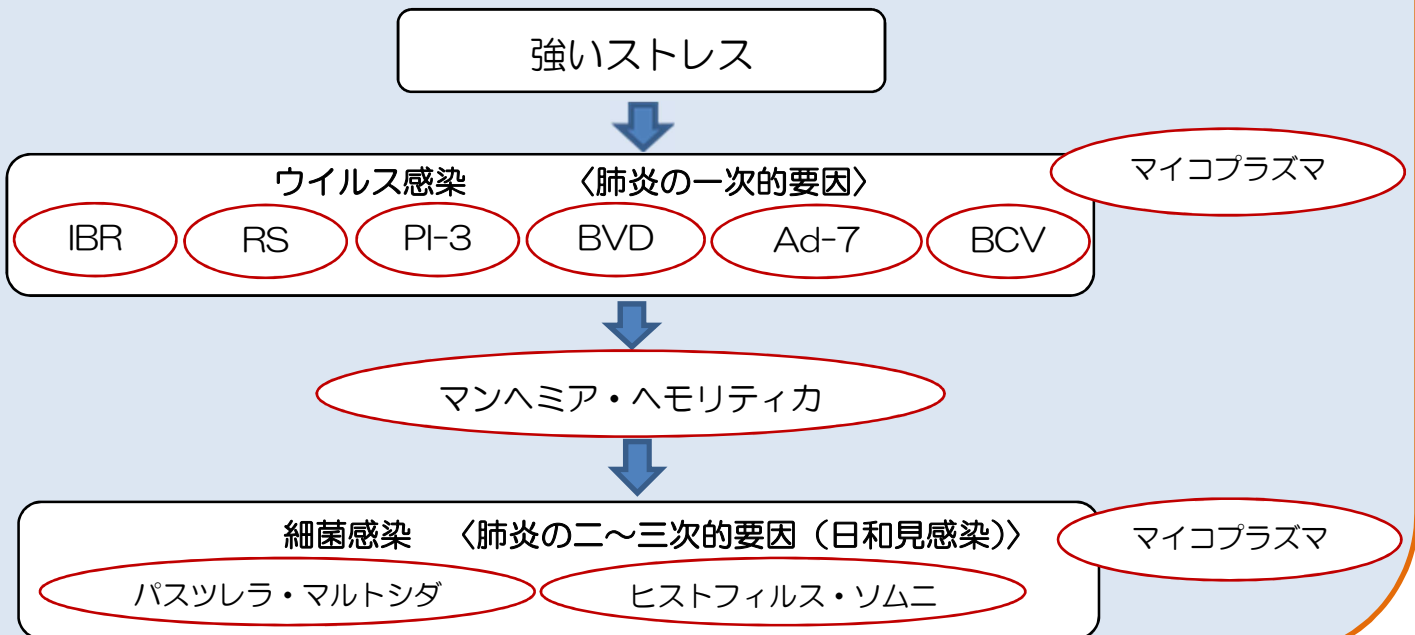
### ✓ 子牛の管理

- カーフジャケット・ネックウォーマー・カーフハッチ・保温用ヒーター

発見が遅れると重症化し治療にも時間がかかります。異状を見つけたらすぐに診療獣医師または家畜保健衛生所にご連絡ください。

### ＜牛の呼吸器病症候群（BRDC）の進行と病原体の関与＞

牛の呼吸器病症候群（BRDC）とは寒暖の変化、移動、換気不良、過密等で強いストレスがかかることで、ウイルスやマイコプラズマ、細菌などが複合感染し肺炎症状が重篤になる呼吸器病のことです。



下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所  
むつ地区家畜衛生推進協議会

〒035-0072 むつ市金谷2丁目 18-25

電話 0175-22-1254 FAX 0175-22-1259

夜間・休日の連絡先 090-5841-6810